

# 品川支部

令和四年10月1日発行  
〒141-0022  
品川区東五反田1-8-5  
Tel. 3442-7075

# 10月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

## 「つなぐ心ひとつに」 天理×生駒 友情の再試合

夏の甲子園を掛けた奈良大会の決勝 天理高校の相手は強豪智辯学園を破った県立生駒高校 熱戦のはずが、コロナ感染で主力メンバー12人が出場できず、結果天理の記録的大勝となった。甲子園では生駒高から「つなぐ心ひとつに」の横断幕が送られ天高からは甲子園の観覧招待等交流は続く  
天高の中村監督から生駒に秋にフルメンバーで練習試合をしようとの提案に既に部活を卒業の出られなかった三年生中心に九月十一日記録には残らない決勝戦の再開が行われ、一時生駒のリードを許す緊迫の試合も3対2で天理が勝ち、決勝戦では喜びを控えていたが、今回は喚起の姿を両校入り混じって見せた  
これはNHKでもかなり時間を割いてニュースとして取り上げられた  
宗教問題で揺れる世相から、天理らしい人を喜ばすニュースが目をつけた



### ☆支部行事のお知らせ

・支部例会十月三十日(二頁参照)

・支部幹事会十月九日(日)

櫻京分教会にて六時

・神名流し

十月一日(土)午前十時～十一時

・在宅センターひのきしん

十月二十八日(金)午前九時半～十一時、

・教区ひのきしん

今月は都南組です。よろしくお願いいたします

### ☆教務支庁からのお知らせ

・一れつ会扶育生願書受付

天理小・中学・高校・大学・大学院対象  
受付願書は本部一れつ会事務所まで取り寄せ  
提出は十月一日から三十一日まで

・第十三回「東京わかぎ塾」

今年は十月十日開催の予定です

・イライラしない子育て講座

十月二十九日十時から十二時

・東京元氣プロジェクト

・キャンプ回収

皆様に協力頂いております

・キャンプ回収は

八月 九十八、九キログラム

ワクチン約五十人分

累計 二百九十六キログラム

ワクチン百四十八人分

・婦人会

委員長講習会

十月三十一日午前十時半から

講師 田原本委員長

長岡本春江先生

第三十回女子青年大会

十一月二十七日(日)親里にて

・青年会

第九十六回天理教青年会総会

十月二十七日午前九時から

今回は親里にて代表者のみ参加

\*都内各献血ルームで強調期間

献血ひのきしん十一月末まで

・社友会

スキット三十九号各教会に配布

品川支部ではにいがけの一環として、スキットを各教会に無料で一部もれなく配布させていた頂くことになりました。

とになりました。

拠点教会	5日号	12日号	19日号	26日号
日本橋	直送	手配り	手配り	手配り
本荏	直送	直送	直送	手配り
南泰	手配り	手配り	手配り	直送
三ツ木	手配り	手配り	手配り	直送
水豊田	手配り	手配り	手配り	手配り

時報手配り十月予定

# 子育て

## 本品分教会



現在、教会には、長男の三女三才、次男の長男三才、朝からたいへんにぎやかな教会である。朝づとめは七時であるが、孫はもう六時頃より起きて遊んでいる。

一才の男の子は神殿に来ると頭を下げて手をたたくのである。この男の子は神殿に来ると頭を下げて手をたたくものだと思っている。

ひとつのパターン化した動作なのです。パターン教育というものです。心の教育、人間づくりの最適時期は受胎からせいぜい二才〜三才ぐらゐまでの時期であると言われている。学校教育以前の段階で既に決定的な人間形成の基板ができあがってしまうのです。

その意味においても教育の原点は胎児期から乳幼児期における家庭教育、とくに母とこの人間的な触れ合いが大切なのです。教育とは教えることではなく、解ってきたきらいが自分には強くあるのですが、教育とは教えることではなく、自分で覚えることではないかと思っております。教えるのではなく、くり返しくり返し与えることで覚え育つのではないのでしょうか。よい習慣のくり返しができる、育てる、人間形成ができていくと思っております。乳幼児はなんでも口に運びます。味わうのです、におうのです。感触をたしかめます。そして覚えるのです。成長していくのです。母親は自分の子どものやっていることに自分なりの評価を与えないと満足しないという点があります。

ですが、子どもが母親から言っているのは、うまい、下手という評価よりも、よかったねという母親の喜びの言葉なのです。母親が素直に喜ぶことこそ大事なのです。その姿を見て子どももうれしく思うのです。しつけとは良い習慣を身につける方法です。身につくとは、頭で理解し納得してから実行するのではなく、何も考えることなく無意識に行動にあらわれることなのです。人として身につけるべき大切なこと、あいさつはもちろんのこと、お互いの気持ちを考えてやる、命を大切にすること、そして、あなたがたい心の持ち主になるように、子ども、孫の成長を見守りたいと思っております。

中澤光郎

# 品川支部例会

## 令和四年10月30日 (日) 11時開始

### 場所 本品分教会

(品川区東大井3丁目7-10)

内容 おつとめよろづよ八首 十下り目  
東京教区、支部連絡事項  
当該教会長 挨拶  
昼食の用意頂いてます

\*各教会の方のほかどなたでも (白足袋ハッピー着用)

